
あおの羨望

T A M

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あおの羨望

【Nコード】

N7339G

【作者名】

TAM

【あらすじ】

現状へ抱く憂いについて詩を書いてみました。

(前書き)

初投稿の拙い詩ですが、頑張っ
て書いてみました。

深い海の底で、ある魚が空を見上げている
視線の先には輝く太陽があり、その光は海面の波によって、絶え間なく揺らめいている

魚はため息をついた

ああ、あの明るい場所に近づけたなら

この藍色の海の世界から、あの青色の光の空に飛び出せたなら、どれほど幸せだろう

いま自分のいる海は重い水に満ちて暗く、息苦しい

しかし魚の自分には、その夢は叶わない

どんなに願っても、この海で生きていく他無いのだ

魚は大きく、ため息をついていた

広い空の下で、ある鳥が飛んでいる

視線の先には水平線があり、日の光を反射しながら、どこまでも続いている

鳥は翼を羽ばたかせた

ああ、あの彼方までいけたなら

この空色の大気に自分の肢体を委ねる幸福感を、いつまでも感じて

いたい

地上で待ち受けている様々な危険が、その願いに拍車をかける

しかし、いま自分のいるこの空には食べ物も水もない
生きていくためには地上に降りなければならぬのだ
なまじ空に近いからこそ、その悲しい事実打ちのめされる

鳥はもう一度、翼を羽ばたかせていた

遠い宇宙の中で、ある人が立ちつくしている

視線の先には地球があり、太陽に照らされ青く輝いている

人は、手を伸ばした

ああ、あの故郷に帰れたら

緑の自然をどこまでも見渡し、その空気を思う存分吸い込んで過ご
せたらいいのに
いま自分のいる濃紺の宇宙はとても淋しく、無重力の状態は心の安
定をどこか乱す

そう思っても、詮無いことだ

独断で地球に戻ることなど許されていないのだから

人はずっと、手を伸ばしていた

(後書き)

いかがでしたでしょうか？感想など頂けると大変ありがたいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7339g/>

あおの羨望

2010年10月28日05時47分発行